



鈴木 康子 *Flute*

1979年以来パリに在住。1980～1982年、パリ市立音楽院及びフランス国立サンモール音楽院(最上級演奏家資格取得)フルート科首席(プリミエ・プリ)卒業。

I.リベラ女史、R.ギオー、A.マリオン、R.エリシエ各氏に師事。同年パリ及びフランス国内有数国際コンクール入賞。また欧州各地国際講習会、マスタークラスに於いて、巨匠ニコレ・ラリュー、アドリアン各氏に師事。

1983年東京 青山タワーホールに於いてデビューリサイタル、及び1984年パリ・サンメリー教会(パリ市4区)デビューリサイタル後、1985～1995年パリを本拠に、日本各地及び欧州各国でリサイタル開催。パリ市国際芸術都市(2回出演)、フランス文化省文化大臣ジャック・ラング氏主催リサイタル開催及び在仏日本大使館主催演奏会(広報文化センター)リサイタルを3回開催。ヨハン・ゼバスティアン・バッハ生誕300年記念演奏会に出演(パリ・モンパルナスに於いて)。ギリシャ・コーフー島音楽祭招聘演奏会など。1995年及び1997年に野方区民ホールにて「デュオリサイタル」を

同期生ヴィセンス・ブラツ・パリス(パリ国立管弦楽団フルートソ奏者)と共演。2004年12月パリデビュー20周年記念リサイタルをモンパルナス、サント・シャペルベルナルに於いて開催し好評を博す。1998年にデビュー15周年記念と題して「フランス音楽曲集・光と風と色」のファーストCDリリース。2004年8月1日に念願のCD第2弾リリース。「AMETHYSTE(アメジスト)『愛と情熱～ラテン音楽への憧憬～』日本、パリにて好評発売中。現在もパリを拠点に日本、欧州とソリストとしてクラシック室内楽中心に活動し、ラテン音楽、弦楽及び声楽、ピアノ曲などの編曲作品の開拓にも意欲をみせている。2015年6月27日「愛と情熱-Yasuko SUZUKIと仲間達」パリ3区マレー地区のサン・クロワ・アルメニアン教会で演奏会(ピアノ・アコーディオンとのトリオ)及び2016年12月10日(デュオフルトリサイタル)を開催し好評を博す。来年度、フランス・バルビゾン音楽祭招聘演奏会及び2018年3月末にパリ日本文化会館に於いて「在仏現代日本人作曲家シリーズコンサート」演奏会が予定されている。

公式ホームページ <http://www.yasukosuzuki.com>



吉岡 次郎 *Flute*

武蔵野音楽大学、スイス・バーゼル音楽大学卒業。'02-'03年バーゼル交響楽団研修団員。その後カールスルーエ音楽大学にて室内楽を学び帰国。

第12回JFCコンクール・ピッコロ部門第2位、第3回東京音楽コンクール最高位。国内外で定期的にソロ・リサイタルなどの演奏活動を行う。ソリストとしてこれまでに名古屋フィル、東京フィル、日本フィル等と共演。

'08-'09 神奈川フィル契約首席奏者。'10-'11年度(財)地域創造「公共ホール音楽活性化事業」登録アーティスト。

これまでに5枚のソロCDアルバムと2枚の室内楽CDアルバムをリリース。フルートを白尾 隆、F.レングリ、笠井 潔、R.グライス=アルミンの諸氏に師事。ムラマツ・フルート・レッスンセンター講師。桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。(公財)千葉交響楽団フルート奏者。



松岡 優 *Piano*

3才より祖母、土屋明子の手ほどきでピアノを始め、その後、大瀧郁彦、泉ひろ子、迫 昭嘉、土屋律子の各氏に師事。桐朋学園大学に入学し中井恒仁、藤井一興の各氏に師事。かながわ音楽コンクールシニアピアノ部門第1位。卒業後渡仏し、パリ国立地方音楽院ピアノ伴奏科にて、アリアンス・ジャコブ、フィリップ・ピロスの各氏に師事。

同音楽院卒業後、パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科、バレエ伴奏科、エクリチュール科に入学しジャン・フレデリック・ヌーブルジュ、他に師事している。

2010年サルブレイエールにおいてパリ国立管弦楽団のプレコンサートに出演。現在、トリニテ教会合唱団ピアニスト、ヴェルジェイフ音楽院にてクラシックバレエの伴奏、パリ国立ダンスセンターにて現代バレエの伴奏ピアニストとして活動している。また夏の帰国時には、横浜を中心に管楽器、声楽、チェロ等とのコンサートに頻繁に行っている。